

Quo Vadis —さざれ石の巖となりて—

慟哭する彼の周りに  
人々が集まった

絶望と失望の濁流に呑み込まれ  
為す術もなく叫ぶ男

この弱さを 狡さを 醜さを 愚かさを  
とくと見ろ 書き刻め！

決して忘れ去るな 永遠に語り継げ！

一通り嘆いたのち 悔い改めた男を  
人々は赦した

あの日を懐かしく思い出す

気の利いたことを言えない  
恥ずかしいのか

説教めいたこともなかなか言えない

弱く 狡く 醜く 愚かで  
そして素直で 実直で

雄弁になるのは主の言葉を語る時だけ

それが私の夫

手紙を託し 時を待つ

鶏を 松並木を 二人で語りながら